

施策マネジメントシート1(26年度目標達成度評価)

作成日 平成 27 年 6 月 30 日  
更新日 平成 27 年 6 月 30 日

総合計画体系	政策No.	4	政策名	みんなで元気に笑顔あふれるまちづくり	施策統括部	教育部	部長名	上原 哲也
	施策No.	22	施策名	生涯スポーツの推進	施策主管課	生涯学習課	課長名	辻 健一
					関係課	市民課、学校教育課、人権啓発教育課、会計課、監査委員事務局		

1 施策の目的と指標 **新政策** **Ⅲ 教育の健康** **施策** 12 **生涯スポーツの推進**

① 対象(誰、何を対象としているのか) \*人や自然資源等  
市民

② 意図(対象がどのような状態になれば良いのか)  
生涯にわたって目標・目的を持ち、スポーツを行なっている

③ 対象指標(対象の大きさを表す指標) \*数字は記入しない

名称		単位
A	人口	人
B	市外からの通勤・通学者数	人
C		

④ 成果指標(意図の達成度を表す指標) \*数字は記入しない

名称		単位
A	目標・目的を持って実際にスポーツを行なっている人の割合	%
B		
C		
D		
E		
F		

成果指標の測定企画(実際にどのように実績値を把握するか)

市民意識調査により把握  
設問:「あなたは目標・目的を持って実際にスポーツを行なっていますか？」  
選択肢:①週に2回以上行なっている、②週に1回行なっている、③月に2、3回行なっている  
④月に1回行なっている ⑤ほとんど行なっていない  
※「スポーツ」とは、学校や職場、地域社会の中で行われる組織的なスポーツ活動だけでなく、個人的なスポーツ活動も含みます。  
(目標・目的を持って実際にスポーツを行なっている人の割合=①~③を回答した人数/全回答者数)

2 指標等の推移

指標名	単位	数値区分	21年度現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
対象指標	人	見込み値		56,281	56,829	57,377	57,925	58,474
		実績値		56,638	57,367	58,237	59,067	
		見込み値						
成果指標	%	成り行き値		32.8	32.8	32.8	32.8	32.8
		目標値		34.0	36.0	38.0	40.0	42.0
		実績値	32.8	41.9	38.3	39.7	40.3	
	A	成り行き値						
		目標値						
		実績値						
	B	成り行き値						
		目標値						
		実績値						
	C	成り行き値						
		目標値						
		実績値						
D	成り行き値							
	目標値							
	実績値							
E	成り行き値							
	目標値							
	実績値							
F	成り行き値							
	目標値							
	実績値							

事務事業数		本数	21年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
施策コスト	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	5,432	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	21,367	37,210	29,856	32,102	23,088
		繰入金	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	75,108	68,903	36,378	39,724	45,016
		事業費計(A)	千円	96,475	111,545	66,234	71,826	68,104
	(A)のうち指定経費	千円	17,403	15,414	8,201	7,974	1,723	
	(A)のうち時間外、特殊勤務手当	千円	577	560	781	565	732	
	人件費	延べ業務時間	時間	7,268	6,557	6,586	5,685	6,183
人件費計(B)		千円	29,339	0	26,239	23,144	25,171	
トータルコスト(A)+(B)		千円	125,814	111,545	92,473	94,970	93,275	

基本計画期間における施策の目標設定とその根拠(水準の理由と前提条件)	A: 目標、目的を持って実際にスポーツを行なっている人の割合について、成り行き値は、経済状況が不安定なことを考慮して、平成21年度の実績値である32.8%で今後も推移すると考え設定した。 目標値は、高齢化が進み、余暇を利用してレクリエーションスポーツに親しむ人が増える予想されることに加えて、手軽に取り組めるニュースポーツの周知と普及促進をすすめ、ひろくスポーツに取り組める環境を整えること、各種団体の周知を図り、団体参加を促すこと、人材を発掘し、人材の活用を進めること、既存の施設を検証し、多くの人の利活用ができるような仕組みと有効な施設利用を図ること、平成22年度の第1期の学習とスポーツを含めた目標値である42%を、平成27年度の目標値として設定した。
基本計画期間における施策の方針	①市民が自ら生涯スポーツに取り組みやすい環境づくりにつとめる。 ②豊かな心をもつ人を育み、生きがいを見つけられる生涯スポーツの推進。

## 施策マネジメントシート2(26年度目標達成度評価)

生涯スポーツの推進

### 3 施策の特性・状況変化・住民意見等

【1】この施策の役割分担をどう考えるか(協働による住民と行政の役割分担)

ア)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)

- ・市民は、市主催または地域主催等の色々な事業に参加する。
- ・市民は、体力向上(競技力向上)のため、目標を持って取り組む。
- ・地域は、レクリエーションやスポーツ活動を開催する。
- ・団体と事業所は、スポーツイベントや各種スポーツ教室等を開催する。

イ)行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)

- ・各種スポーツ大会の開催と支援
- ・各種ニュースポーツの紹介など、生涯スポーツのきっかけづくりとしての事業の実施
- ・各種施設の計画的な整備と管理・運営
- ・競技別リーダーの育成

【2】施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は今後どのように変化するか?(平成27年度を見越して)

- ・高齢化がさらに進むことで、自分の体力にあったスポーツに親しんだり、参加する人が増えると予想される。
- ・施設の老朽化が進み、維持管理費の増加が予想される。
- ・地域では、レクリエーションスポーツの実施が増えているが、今後もこの傾向は続くと思われ、種目ごとに必要な器具や用具の備えが必要になってくる。

【3】この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・市民から、各種スポーツ教室の内容拡充の要望が多い。

【平成26年度の施策評価(25年度振り返り)における議会意見】

1. 老若男女がゲーム感覚で楽しめるスポーツを積極的に推進すること。
2. スポーツ推進委員の再度の待遇改善を指摘する。

【平成26年度の施策評価(25年度振り返り)における総合政策審議会意見】

1. 市民がより参加しやすい生涯スポーツ行事の企画を検討すること。
2. 施設の利用料の再検討を行なうこと。
3. 生涯スポーツに関する情報提供を更に充実させることを検討すること。
4. 施設の整備を検討し、不足している備品等の整備を行うこと。

### 4 施策の評価

【1】施策の目標達成度(26年度目標と実績との比較)

A → ○【 目標・目的を持って実際に学習やスポーツを行っている人の割合 】

： 目標値40.0%に対し実績値40.3%であり、達成度は100.8%であった。

※左記の背景として考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)

A:スポーツや健康づくりなど市民の健康意識の高まりとスポーツ推進委員による啓発活動の成果があったものと考えられる。

※○:目標達成 △:目標をほぼ達成(-5%) ×:目標を未達成

【2】施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)

(1)平成26年度経営方針である、

- ①「安心して安全に利用しやすい施設とするために計画的な改修を行なう。」については、適正な管理に努め、老朽化による危険性のあった総合運動公園給水塔の撤去、福原グラウンドの排水工事を行うなどの施設改修を行なった。
- ②「健康づくりを目的とした生涯スポーツを推進する。」については、各区対抗ニュースポーツ大会、スポーツフェスティバル、健康カントリーマラソン大会、春ウォークラリー大会などのスポーツイベントを開催し、市民及び各区の交流と健康づくりに努めた。
- ③「より多くの市民が参加しやすいように、各種スポーツ教室の内容充実と啓発に努める」については、年度を前期、後期に分けて市民の健康づくりに繋がる各種講座を設け、募集パンフレットを各世帯に配布し市民に対する啓発を行った。

(2)事務事業貢献度評価の結果では、平成26年度施策の成果を向上させるために最も貢献した事務事業として、総合型地域スポーツクラブ運営支援事業があげられ、貢献した事務事業にはスポーツフェスティバル開催事業があげられた。

**【3】 施策の課題(基本計画期間を見据えて、どのような課題を解決していかなければならないか)**

- ・各種施設、設備の老朽化に伴う、計画的な施設、設備の改修
- ・地域では、レクリエーションスポーツの実施が増えているが、ニーズに合ったレクリエーションスポーツや学習の情報提供や支援に努める。

**5 施策の26年度結果に対する審査結果**

**①政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて…平成27年7月23日)**

- ・健康づくりのための生涯スポーツの推進が必要。
- ・総合型地域スポーツクラブの充実が必要。

**② 総合政策審議会での指摘事項(平成27年8月12日、8月19日、26日まとめ)**

- ・生涯スポーツの普及促進と、スポーツ推進委員や指導者の充実と活用を図ること。
- ・市民全体でできるイベント、スポーツの実施を検討すること。
- ・地域ごとにスポーツ施設の充実を検討すること。

**③ 議会の行政評価における指摘事項(平成27年9月25日)**

- ・体育施設、グラウンド等の充実を図り、組織化を含めスポーツの推進を図ること
- ・地域対抗の各種スポーツイベントを開催し、交流および健康促進につなげる

**6 次年度に向けた取り組み方針**

**● 政策推進本部 平成28年度合志市経営方針(平成27年10月5日)**

1. ラジオ体操による市民の健康づくりを更に推進する。
2. 安全で利用しやすい施設とするために計画的な施設の改修に努める。
3. 市民が参加しやすいスポーツの普及促進とスポーツ推進委員や指導者の充実を図る。
4. 小学校運動部活動の社会体育移行に向けた環境整備を推進する。

施策マネジメントシート3(26年度目標達成度評価)

基本事業名	70 スポーツの啓発	基本事業担当課	生涯学習課
-------	------------	---------	-------

対象	取り組んでいない市民	意図	施設やスポーツの内容を知ることができる
----	------------	----	---------------------

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A	%	(成り行き値)目標値		(62.3) 63.3	(62.3) 64.0	(62.3) 64.7	(62.3) 65.3	(62.3) 66.0
		実績値	62.0	58.3	57.2	56.8	59.3	
B		(成り行き値)目標値						
		実績値						
C		(成り行き値)目標値						
		実績値						

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

A: スポーツに取り組んでいない市民を対象に、手軽に取り組めるニュースポーツの周知と普及促進を進め、広くスポーツに取り組める環境を整えることで、スポーツに取り組んでいないが今後取り組んでみたいと思う市民の割合を、平成27年度までに、66% (2/3程度) まで上げることを目標として設定した。

8 基本事業の26年度の振り返り(目標達成度評価)と28年度に向けての課題

昨年度と比較すると実績値は、0.4ポイントの微減となっている。市民の健康に対する意識を向上させること及び親しみやすい、取り組みやすいスポーツの啓発が必要である。また、目標値を上回っていくために、カローリングなどの手軽にできるニュースポーツの普及や施設・備品等の老朽化の整備を進めていく必要がある。

基本事業名	71 スポーツへの参加機会の提供	基本事業担当課	生涯学習課
-------	------------------	---------	-------

対象	市民	意図	スポーツに参加する機会がある
----	----	----	----------------

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A	%	(成り行き値)目標値		(45.3) 46.8	(45.3) 47.6	(45.3) 48.4	(45.3) 49.2	(45.3) 50.0
		実績値	45.2	45.0	44.0	44.4	43.8	
B		(成り行き値)目標値						
		実績値						
C		(成り行き値)目標値						
		実績値						

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

A: 手軽に取り組めるニュースポーツの周知と普及促進を進め、広くスポーツに取り組める環境を整えることで、少なくとも半数の市民がスポーツに親しむ機会があると思うようになることを目標として、平成27年度の目標値を50%と設定した。

8 基本事業の26年度の振り返り(目標達成度評価)と28年度に向けての課題

実績値は、昨年度と比較して0.6%減っている。今後も市民のニーズにあった、事業・大会の開催によりさらなる運動機会の提供に努める。ニュースポーツ大会やスポーツフェスティバルを開催し、手軽に取り組めるニュースポーツへの関心を高めるため、今後も更に健康づくりも含め啓発・普及に取り組んでいく必要がある。

基本事業名	72 スポーツ団体の育成	基本事業担当課	生涯学習課
-------	--------------	---------	-------

対象	取り組んでいる市民	意図	・スポーツに取り組む仲間ができる ・スポーツの指導者になる
----	-----------	----	----------------------------------

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A	%	(成り行き値)目標値		(42.2) 44.0	(42.2) 45.0	(42.2) 46.0	(42.2) 47.0	(42.2) 48.0
		実績値	42.2	39.5	35.6	39.1	38.1	
B	%	(成り行き値)目標値		(3.8) 4.0	(3.8) 4.2	(3.8) 4.4	(3.8) 4.6	(3.8) 4.8
		実績値	3.8	1.4	2.1	1.1	2.8	
C		(成り行き値)目標値						
		実績値						

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

A: 施策の成果指標である「目標・目的を持って実際にスポーツを行っている人の割合」の伸び率を参考に、市民やスポーツ体験教室参加者を通じて総合型地域スポーツクラブ、各種スポーツの自主サークルのPRを強化し、団体への参加を促すことにより、平成27年度の目標値を48%に設定した。  
B: 施策の成果指標である「目標・目的を持って実際に学習を行っている人の割合」の伸び率を参考に、人材を発掘し、今後計画されている人財バンクへの登録により、人材の活用を進めることで、平成27年度の目標値を4.8%に設定した。

8 基本事業の26年度の振り返り(目標達成度評価)と28年度に向けての課題

A: 個人的にスポーツや健康づくりに取り組む市民が多く、実績値は昨年度と比較して減ってきているが、施設によっては、空きがない程サッカー・野球・ソフトボール等、各団体が利用されている。総合型地域スポーツクラブへの加入促進を図るなどにより、目標達成を図っていく必要がある。  
B: 指導者の割合が低いいため、小学校部活動の廃止に伴い、併せて指導者の発掘と育成に今後取り組んでいく必要がある。

施策マネジメントシート3(26年度目標達成度評価)

基本事業名	73 スポーツ施設(環境)の整備	基本事業担当課	生涯学習課
-------	------------------	---------	-------

対象	市民	意図	活動する場がある
----	----	----	----------

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A	%	(成り行き値)目標値		(57.3) 58.0	(57.3) 58.5	(57.3) 59.0	(57.3) 59.5	(57.3) 60.0
		実績値	57.3	59.2	57.9	60.9	58.2	
B		(成り行き値)目標値						
		実績値						
C		(成り行き値)目標値						
		実績値						

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

A: 老朽化した施設の改修に取り組むことや、種目に応じた施設の周知を更に進めること、既存のグラウンドが市民の要望に合ったものであるか検証し、多くの人の利活用ができるような仕組みを作り、有効な施設利用を図ることで、60%を平成27年度の目標値として設定した。

8 基本事業の26年度の振り返り(目標達成度評価)と28年度に向けての課題

快適に利用できるよう各施設の維持管理に努めた。今後は、計画的な施設の改修と親しみやすい施設の整備に努める。

基本事業名		基本事業担当課	
-------	--	---------	--

対象		意図	
----	--	----	--

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A		(成り行き値)目標値						
		実績値						
B		(成り行き値)目標値						
		実績値						
C		(成り行き値)目標値						
		実績値						

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

8 基本事業の26年度の振り返り(目標達成度評価)と28年度に向けての課題

基本事業名		基本事業担当課	
-------	--	---------	--

対象		意図	
----	--	----	--

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A		(成り行き値)目標値						
		実績値						
B		(成り行き値)目標値						
		実績値						
C		(成り行き値)目標値						
		実績値						

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

8 基本事業の26年度の振り返り(目標達成度評価)と28年度に向けての課題